

えひめ経済人

愛媛 イズム

北岡 尚子社長(63)

好きなことを 本気に 楽しく

忙しい女性を服で応援

実家の縫製工場を手伝っていた30歳の頃、結婚や出産を迎える友人らから「マタニティー向けの服がないので作ってほしい」と依頼を受けました。口コミで「かわいい」と評判になり、ビジネスとして婦人服製造・販売会社「アトリエき・な・こ」(松前町)を立ち上げました。

アトリエき・な・こ (松前町)

体形が変わる妊婦や中高年女性に、よりおしゃれを楽しんでもらおうと思いました。30年ほど前、そうした服はお金がかかりました。例えば1万5千円するトレーナーもありました。普通の主婦には手が届き

ませんでしたが。手作りで、もう少しリーズナブルな商品を目指しました。最初の数年は四国内の洋服店を車で回る日々でした。販路を広げるため、アパレル合同展にも参加しました。転機は2007年、約2千社が集まった「東京インターナショナル・ギフト・ショー」です。さまざまな家紋のデザインTシャツが大勢の目に留まり、問い合わせが殺到しました。

現在、県外を中心に洋服店への卸売りが売り上げの9割を占めます。デザインを改良しながら年間150種類に扱う服は約150種類です。06年に事務所に店舗を併設し、客と直接触れ合う機会が増えました。試着した人がうれしそうな表情を見ると「この顔を見るために仕事をしているんだ」とモチベーションが高まります。

女性社会進出が進み、生活様式や買い物スタイルも変わりました。派手ではないけど、休日のお出掛けに着られる洋服。仕事に家庭にと、忙しい人たちの「応援団」になりたいと思っています。

今も東京や神戸といった都会が主流と思われがちです。しかし、愛媛のよきな地方からも発信できます。今の取引の多くは県外なので、地元松前町や県内の女性にもっと知ってもらおう努力が必要です。

好きなことが仕事だといふ趣味的思考になりがちで「経営者としてしっかりビジネス視点を意識しなければ」との反省もあります。その上で、従業員全員で作る気持ちをお大切にし、本気で楽しくをモットーにやっています。

(聞き手・菅亮輔)

【きたおか・なおこ】1956年、松山市生まれ。松山東雲短期大を卒業後、松山ドレメ専門学校で洋裁を学ぶ。実家の縫製工場の手伝いを経て会社を設立。デザイナー。洋裁に加え、歴史関係の読書が趣味。毎年正月のスキーも楽しみの一つ。

【アトリエき・な・こ】1993年に設立。婦人服製造・販売を手掛ける。2011年に株式会社化。事務所兼店舗は松前町出作。社長のほか従業員5人。取引先は県内外約300件。